

とつかボランティアセンター 通信

♡ボランティア活動で「笑顔のつながり」をつくる秋!



皆さま、いかがお過ごしでしょうか。今回は「連載」と「ボランティア募集」を中心に、とつかボランティアセンター通信をお届けいたします。

きりり★

あの団体のボランティア担当者

連載

今回取材をさせて頂いたのは…

「お茶の間♡楽交」山田純子さん

お茶の間♡楽交とは…

東戸塚駅より徒歩7分ほどの雑居ビル2階にあり、親子連れも小中高生も若者も大人も年齢に関係なく誰もがくつろげる場所です。作品を展示、販売できる小箱・ギャラリー、様々な自主講座の開催、地域のこだわりの食品の販売、コーヒー等楽しめるカフェもあります。



山田純子さん
のおはなし

お茶の間♡楽交は、「親戚の家」ぐらいの感じでしょうか。「実家」よりはちょっと遠慮があって、自分でもちょっと動こうかなと思えるような距離感を大切に運営しています。

コロナ状況下の運営について…コロナ感染リスクは、どこにでもある。気をつけていても感染することはあるし、それはその人のせいでもない。ここに集う人達には、「感染しても責めない」「感染した人がいたら助け合う」ことを呼びかけている。その安心感があるからこそ、みな、集まってきている。その安心感は、場所としての「よりどころ」に行けなかったとしても、心の「よりどころ」となると思っています。



地域のこだわりの食品(今回はゴーヤ)を、販売していました。おいしそう!



ボランティア募集の詳細は、2面をご覧ください。

ボランティアのたまため箱

このコーナーは、毎回さまざまなボランティアさんを紹介します!

中学生から80代まで…。お茶の間♡楽交で受け入れてきたボランティアの方々は、まさに老若男女!最高齢の〇さんは82歳。家からも近く、活動もとても気に入っている、とコロナ以前は週3~4回の活動を。「今はお休みしているけれど、落ち着いたら絶対再開します!」元気の素は、「よりどころ」があることかもしれませんね。